

従業者向け	児童発達支援評価表
-------	-----------

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		お子様の人数を確認し、活動スペースを保てるよう努めている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		送迎時に人員基準の確認、状況に合わせて配慮した対応ができるように打ち合わせをしている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		5	バリアフリー設計ではない為、必要とする機会があれば設置していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日机、いすロッカーなどお子様の手が触れる所は消毒している。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		保護者様から頂いたご意見を職員間で共有し、業務改善に努めている保護者様が相談しやすい関係性や環境を作り、より意見を聞き取っていけるようにしていく。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		個別支援計画を共有し、会議や朝礼時に振り返りを行っている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員間で共有し、頂いた意見をもとに話し合い、業務改善に努めている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎日の朝礼時や支援後に振り返りを行い課題の確認や今後の支援方針を話し合っている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	必要に応じて第三者より外部評価を行える環境にはある。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		ホームページを活用し研修の機会に積極的に参加し研修内容を職員間で共有する時間を作っている。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		ホームページを活用し公表している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3	2	保護者様と面談時にアセスメントを行い、職員間で話し合いをしている。保護者様のニーズにあっているのかすり合わせの機会を作り支援が必要とされる点を確認していく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	2	個別支援計画書を誰でも見れる環境にしてあり、確認している。今後も会議を増やし課題の抽出をしていけるよう努めていく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		共通認識をして、課題を把握した上で支援にあたっている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		各支援目標を作り、個々に応じて必要な支援内容を設定している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員で役割を決めて活動の立案をしている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		活動実施後の振り返りも行き、活動の役割分担も変えて固定化しないようにしている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	2	3	個別活動をすることが少なく集団活動が多い。今後お子様の状況や状態に合わせて個別活動も行っていけるよう努めていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		活動時間の設定や活動を行うイメージを打ち合わせをして決めている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		活動後には振り返りを行い、今後の活動に活かせるようなことを意見を出し合いまとめている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		連絡帳に記載し、必要があればlineを通じて保護者様に支援記録を伝えている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		保護者様と面談の機会を設けて実施している。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	2	担当者が会議に参加し様子を伝えている。担当者以外でも情報があれば全体で共有していけるように努めていく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		5	実施したことがない。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2	園での様子は送迎時にお聞きすることが多く、詳しく伺う機会は少ない。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		5	送迎時に先生からお話を伺える機会がすくないため、今度も施設での状況を伝えながら学校での様子も聞き取っていけるよう努めていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		5	実施したことがない為、今後地域にも周知してもらえよう連携をとっていく。	

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5	地域での活動を増やし、交流の場を提供していけるよう努めていく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1	送迎時や、連絡帳、必要であればLineを通じて情報を交換している。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5	家族参観の日を作り、施設での様子を知ってもらえる機会をつくれるよう努めていく。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に契約書を交わしながら行っている。その際支援プログラムの説明も実施している。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		利用開始前に聞き取りを実施し、お子様の状況や好きな事や保護者様の困りごと等聞き取っている。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		送迎時になることが多いが実際に原本をもとに説明している。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		5	アプリ上やLineのツールを使用し、相談ができるようにしている。相談しやすい環境を作れるよう努めていく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5	実施していない。今後実施していき回数を増やしていきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		面談の希望があった場合は、すぐに日程調整を行い面談をしている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	2	Instagramで日々の様子を紹介している。不定期なので定期的に紹介できるよう努めていく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		契約時に個人情報の同意書にてSNSの承諾も得てから写真を掲載している。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	2	絵カードを使用したり、お子様に合わせた対応ができるようにしている。足りていない部分もあると思うので今後も保護者様に聞きながら配慮を考えていく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	実施していない。今後実施していき回数を増やしていきたい。
非常時等の	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		安全計画を作成し各ご家庭に配布している。避難訓練の際、スタッフのみの訓練も実施している。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		非常災害に備え、必要な訓練を実施していけるよう努めていく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		アセスメントシートにて聞き取りを行っている。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		アセスメントシートにて聞き取りを行っている。おやつにその成分が含まれていないか確認をしている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		非常災害時に、避難が円滑に安全に行えるよう様々な避難訓練をくりかえし行っていけるよう努めていく。

対 応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		安全計画の用紙を配布している。すべての家庭に配布できるよう努めていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		毎月作成し、職員間で会議で共有対策を立てている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止チェックシートを活用し、職員間で集計をとっている。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		